



「やまがた障がい者芸術活動推進センター」として
活動しております、「ぎゃらりーら・ら・ら」からのお知らせです。

今年も発掘！様々な自己表現のカタチ！

第5回

山形県知的障害児者生活サポート協会 やまがた障がい児者アート公募展

Art Digるへべ [あーとでいぐるへべ]

山形県知的障害児者生活サポート協会は、知的障害児者・自閉症児者の皆様をサポートする「生活サポート総合補償制度」「生活・就労サポート総合補償制度」の加入窓口としての業務を行っている他、障がいのある皆様の芸術活動推進に少しでもお手伝いができるよう、今年度も公募を開催いたしました。その中より選考により入選された作品の展示を行っております。是非、「様々な自己表現のカタチ！」を足をお運びいただきましてご覧ください！

2020.12.24[木]▶2021.2.14[日] 10:00▶17:00

会場 やまがたアートサポートセンター ぎゃらりーら・ら・ら 入場無料 12/29~1/3はお休みさせていただきます

出展作家

長濱 哲哉	長谷川 源	神尾 勇	柿崎 忍	武田 侑奏
田中 祐樹	阿部 浩紀	山田 幸恵	金原 千代子	沼沢 勇人
阿部 真由美	大澤 梨里子	小関 有紗	加藤 仁美	大沼 美咲
柏木 裕子	金内 誉	鈴木 琴美	林 知行	今井麻衣子
齋藤 知美	遠藤 将	菊地 妙子	白井 愛	鈴木 智
高橋 なぎ	鈴木 穂玖斗	高橋 享子	堀越 凜乃	松風園のぎくユニット
森岡 李鳳	折笠 凜架	朝一 孝心	池田 瑞陽	富樫 マリア

主催：山形県知的障害児者生活サポート協会 協賛：株式会社ジェイアイシー・AIG損害保険株式会社仙台支店

皆様からのお声を頂戴し、サービスの質の向上に向けて、改善に取り組んでおります。
お気づきの点がございましたら、どなたでも結構ですので、各事業所へご連絡ください。

苦情受付結果

令和2年5月1日～10月31日

受付内容 分類 件数	利用者支援に関すること		解 決	苦情解決責任者、受付担当者との 話し合いまたは苦情内容の改善		合 計
	4	4		7	7	
食事に関する事						
生活環境に関する事						
医療看護に関する事						
利用者間に関する事						
利用者の財産管理に関する事						
職員に関する事						
その他	3					
合計	7					



今年は新しい生活スタイルでの季節の楽しみ方となりました。今できることを見つけて、
楽しい暮らしにしていかたいですね。今後も利用者さんや職員などの笑顔を皆様に
お伝えできるようにしていきたいと思います。今年も大変お世話になりました。来年も
またどうぞよろしくお願ひいたします。

[広報委員会 伊藤 美和]

皆さんからのご意見、ご感想をお寄せください。
[愛泉会 HP から投稿できます]

<http://www.y-aisenkai.com>



人権の尊重・自立支援・受容と共に
社会福祉法人 愛泉会

山形市諏訪町一丁目2番7号
TEL: 023-664-2117
発行責任者: 理事長 井上 博

第94号 令和2年
12月25日

...INDEX...

- P1 危機対応について
・新型コロナウイルス感染対策・対応について
・豪雨対応について
- P1 現在の福祉情勢.7
上山市における地域共生社会への取り組み
- P2 令和3年度
障害福祉サービス等報酬改定の
基本的な方向性について
- P2 支え愛 [ケアタウン黒見ヶ崎 山口浩司]
「ティサポートにじいろ」との相互交流
- P3 特集2020年度
「サービスの質の向上を目指して」
障害者支援施設 向陽園
・グループホーム支援センターみらい
- P4-5 事業所の紹介
・向陽園生活介護
・グループホーム支援センター心音
・グループホーム支援センターみらい「あすなろ」
- P7 日々は好日～にちにちこれこうじ～
■P7 ぎゃらりーら・ら・ら展示会スナップ
- P8 ぎゃらりーら・ら・ら通信
- P8 苦情受付結果
- P8 編集後記
・「ティサポートさくら」における地域交流への取り組み



社会福祉法人愛泉会
理事長 井上 博

危機対応について

日頃から多くの皆さんに当法人の運営を支えていただき感謝申し上げます。
今年の前期においては、2つの大きな危機がありました。1つは7月14日に法人
職員に新型コロナウイルスの陽性者発生、そして7月28日に山形県全域を
襲った集中豪雨です。

●新型コロナウイルス感染対策・対応について

当法人では、国内で感染者が確認された直後から、情報収集・共有を行なながら、対策を行なってきました。様々な情報が飛び交う中で不安にさいなまれることもありましたが、利用者の生活、家族との交流等に制限を加えすぎないように意見交換を行いながら、検討し対応してきました。緊急事態宣言が出された直後から5月末までは、送迎車両、事業所内での三密を避けるため、利用者数を定員の半数に、また感染リスクを抑えるため、エリアを超えて利用していた方々については、ご本人、ご家族に説明し、居住する地域で活動、生活が完結するような体制としました。

7月14日にグループホーム支援センター天花の職員1名の陽性が判明し、利用者をはじめ関係する方々には、ご不安、ご心配をお掛けしたが、保健所、天童市の協力を頂き、感染を拡大することなく短期間で収束することができました。これからインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症が流行する季節を迎えますが、職員一丸となり、感染症対策を行なっていきたいと思います。

●豪雨対応について

7月28日に山形県内を襲った集中豪雨では、河川敷に近い向陽園や中山町のグループホーム、そしていちごはうすの利用者の皆さんが一晩避難しての対応となりました。これまで多くの水害等を経験しましたが、30年を超える当法人の歴史の中で初めての出来事となりました。

向陽園では、朝からの断続的な雨により本沢川の水量が増したため、昼食後から避難を開始、またグループホームいちごはうす、中山町のグループホーム雨宿館でも避難勧告が出されたことから、夕食前に避難しました。その後、河川の水量は少しづつ下がってものの、夜間の移動等の危険等を考慮し、一夜を過ごしていました。

向陽園に隣接する本沢川については、河川一部の拡幅工事を終了しておりますが、今後も行政等に改修工事を要望していきたいと思います。

この経験を糧として法人が力を合わせて利用者の命と生活をしっかりと守る取り組みを進めてまいります。皆さんの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在の福祉情勢 7

上山市における 地域共生社会への 取り組み

地域総合支援協議会や、各関係機関での意見の
聞き取りを行なっています。

今年度は、心のバリアフリー推進委員の出前講座が予定されています。地域生活拠点整備の為、研修会を行ない、上山市にとって何が必要か、どのようにすればいいのか、話し合いを積極的に行なっています。

今年度の実施はなかなか難しいものになって

いますが、上山市地域総合支援協議会では、市民の方も参加できる研修を企画(去年は、花笠はーぶ隊、その前は、認知症について)回覧板で情報を回し多くの人が参加されています。夏休み期間には、障がい者スポーツ企画をし放課後等デイサービスや通所事業所の利用者、民生員の方々や、学生ボランティアなどと一緒にスポーツなどの活動を楽しんでいます。

愛泉会では上山市に2か所の事業所がありますので、今後も上山市の障がい福祉の推進に協力させていただきながら、当法人の事業所の活性化に尽力して参ります。[グループホーム支援センター向陽園 支援員リーダー 半田 史良]